

高知県防犯設備協会の紹介

NPO 法人高知県防犯設備協会 理事長
(元 高知県警察本部刑事部長)

上田 瀧雄



【高知県の概要】

○風土

高知県は、豊かな森林と青い海の国です。北は四国山地で愛媛県、徳島県に接し、南は太平洋に面して扇状に突き出しています。太平洋を臨む海岸線は長く、西部はリアス式海岸、東部は隆起海岸で平坦な砂浜が続いています。

○歴史

「とさ」の呼称は、古くから国産みの神話のなかで、土佐国建依別（とさのくにたけよりわけ）と呼ばれています。戦国時代には七雄が並び立ちましたが、長宗我部氏が土佐を統一、その後、関ヶ原の合戦で西軍に味方して破れた長宗我部氏に代わって、慶長六年（1601年）山内一豊が土佐二十四万石の国主として入国しました。

幕末には、坂本龍馬など多くの志士を輩出、明治維新には坂垣退助などが、自由民権運動を起こし、「自由は土佐の山間より」とうたわれるようになりました。

【協会の概要】

当協会は、2011年10月に高知県防犯設備協会として発足、翌2012年1月NPO法人の認証を得て今日に至っています。現在、正会員法人14社（会員企業社員数約200名）。会員企業には防犯設備会社だけでなく、県内大手の建設会社や建築会社に加わっていて、防犯カメラの設置普及活動のほか、社会貢献活動の一環として、年間を通じ通学路の子ども見守り活動や防犯パトロール活動なども実施しています。

【高知県の犯罪情勢】

最近の犯罪情勢は、全国的に犯罪の総量が増加している中で、県内でも県民が不安に感じている住宅や店舗・事業所対象の侵入盗などの犯罪が増加しております。このため、県警においては県民が犯罪被害に遭いにくい「安全・安心まちづくり」対策を重点施策として推進していますので、その実現のためにも当協会と県警との連携が一層重要と考えています。

【主な活動内容】

1 会員研修会の開催

会員のスキル向上を目的に、防犯セキュリティ機器メーカー担当者を招聘して勉強会を開催。

(1) 平成27年1月22日

講演者：アイホン株式会社 様

①戸建て住宅向けテレビドアホン（防犯性能・操作機能の向上等）

②IPネットワーク対応インターホン（低コスト、ネットワークカメラ連携等）

(2) 平成28年6月27日

講演者：株式会社JVCケンウッド 公共産業システム営業本部 プロダクト営業統括部 西日本営業部 中四国システム支店 様

①セキュリティカメラシステムの紹介

(3) 平成29年6月6日

講演者：株式会社 日本防犯システム 様

①昨今の防犯カメラ機器性能と設置の状況

2 防犯活動

県内自治体等を訪問して防犯カメラの普及促進を図っているほか、高知市内及び県中東部香南市内において、会員企業が主催する通学路における子ども見守り活動、拍子木防犯パトロールなど実施し犯罪や事故に遭わない安全安心な地域社会の実現に努めています。

【本年度の重点施策】

本年度中に、防犯優良マンション認定制度を実施すべく、京都、福岡の各地域協会担当者のご指導を頂きながら、鋭意取り組んでいます。

【表彰】

平成29年11月、当協会理事長上田瀧雄が、県民生活の向上に貢献した功績が認められ、高知県知事から平成29年度高知県文化環境功労者として表彰されました。



上田理事長(左)と推薦者藤川理事(右)